

科目名	デザイン演習1							年度	2024
英語科目名	Design Studio 1							学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科 キャラクターデザインコース 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	山下恵	教員の実務経験		有	実務経験の職種		美容師・カラリスト		
【科目の目的】 業界就職に必要な色彩演習を通して色彩論を学び、色彩検定3級～2級取得につなげるスキルを習得することを目的とする。									
【科目の概要】 色彩構成や表現技法などを学び、色彩能力検定取得を目指します。									
【到達目標】 到達目標A：色彩理論と活用技術が結び付き、使いこなせる。 到達目標B：基本の配色や応用の配色を、よく理解して使いこなせる。 到達目標C：C配色方法や、その種類をよく理解する。									
【授業の注意点】 課題提出締め切り日を厳守してください。社会への移行を前提としたマナーで授業に参加してください。 授業内での作業が基本です。 当授業の課題は最低数であり、より高度な技術や真剣に就職を考える生徒には個別で課題を展開します。 状況により授業内容が変更になる場合があります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	色彩理論と活用技術が 結び付き、使いこなせ ている□		色彩理論と活用術の結 び付きを理解はしてい る			色彩理論と活用技術が 結び付いていない			
到達目標 B	基本の配色や応用の配 色を、よく理解して使 いこなせている		基本の配色や応用の配 色を理解している			基本の配色や応用の配 色を理解できていない			
到達目標 C	配色方法やその種類 を、よく理解できてい る		配色方法やその種類 を、一応理解できてい る			配色方法やその種類 を、理解できていない			
【教科書】 筆記用具・199a新配色カラーカード・スティックのり・はさみ・ノート・A4スケッチブック									
【参考資料】 参考書・参考資料等は授業中に指示する。									
【成績の評価方法・評価基準】 作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン演習1				年度	2024
英語表記		Design Studio 1				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	色への導入	各色から受けるイメージを書く	1	色で自己紹介	自分を客観的にみて色に例える	3	
			2	単色のイメージ	色から受けるイメージを自己表現する		
2	色のでき方	色はどのようにして作られているのか	1	有彩色と無彩色	違いを理解できた	3	
			2	純色と原色	違いを理解できた		
			3	純色と白・黒・灰の混色	どの様な色ができるのかを理解できた		
3	色のもつ性格	色の三属性について学ぶ	1	色相	属性を理解できた	3	
			2	明度	属性を理解できた		
			3	彩度	属性を理解できた		
4	色が見える仕組み	色はなぜ見えるのかについて学ぶ	1	光・物体・目	3つの条件により色が見えることを理解できた	3	
5	PCCSと混色	PCCS・混色について学ぶ	1	PCCS	日本色研配色体系について理解できた	3	
			2	混色	加法混色と減法混色を理解できた		
6	色の不思議	色の感情効果と心理効果を学ぶ	1	暖色系・寒色系	色相による効果を理解できた	3	
			2	膨張・収縮	明度による効果を理解できた		
			3	派手・地味	彩度による効果を理解できた		
7	対比	色相・明度・彩度対比について知る	1	色相対比作成	目視により色相対比を理解できた	3	
			2	明度対比作成	目視により明度対比を理解できた		
			3	彩度対比作成	目視により彩度対比を理解できた		
8	五感	五感からイメージで配色をする	1	味覚	各味覚の感覚を色で表現する事ができた	3	
9	基本の配色1	色相から考える配色をする	1	同一色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
			2	類似色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた		
			3				
10	基本の配色2	色相から考える配色をする	1	対照色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
			2	補色色相配色	カラーカードワークと説明で理解できた		
			3	各色相配色（再度）	カラーカードワークと説明で理解できた		
11	基本の配色3	トーンから考える配色をする	1	同一トーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
			2	類似トーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた		
12	基本の配色4	トーンから考える配色をする	1	対照トーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
			2	各トーン配色(再度)	カラーカードワークと説明で理解できた		
13	MIX配色	色相とトーンから考える配色をする	1	色相とトーン配色	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
14	応用の配色1	各配色の法則性を知る	1	グラデーション	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
			2	アクセントカラー	カラーカードワークと説明で理解できた		
			3	セパレーションカラー	カラーカードワークと説明で理解できた		
15	応用の配色2	各配色の法則性を知る	1	ナチュラルハーモニー	カラーカードワークと説明で理解できた	3	
			2	コンプレックスハーモニー	カラーカードワークと説明で理解できた		
			3	ピコロール・トリコロール	カラーカードワークと説明で理解できた		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等